

令和2(2020)年度入学者のための

筑波大学大学院博士課程
人文社会ビジネス科学学術院
人文社会科学研究群
外国人留学生特別選抜学生募集要項

〔中国政府が定める「国家建設高水平大学公派研究生項目実施方法」
に基づき派遣される大学院学生を募集する外国人留学生特別選抜〕

博士後期課程第1年次(10月)入学
人文学学位プログラム
国際日本研究学位プログラム

令和元年11月6日
筑波大学

1. 出願資格

中国政府が定める「国家建設高水準大学公派研究生項目実施方法」に基づき派遣される大学院学生を対象とし、修士の学位を有する者、又は令和2(2020)年9月までに有する見込みの者となります。

(出願にあたっての留意事項)

- (1) 本特別選抜に合格しても、「国家建設高水準大学公派研究生」(中国政府派遣の類型は、学位取得博士研究生)に採択されなかった場合は、入学が許可されません。
- (2) 本特別選抜に合格した場合の入学の時期は、令和2(2020)年10月1日となります。
- (3) 本特別選抜により受け入れる場合の検定料、入学料及び授業料は徴収しません。
ただし、入学後3年間経過した後も在学する場合、4年目以降は授業料を徴収することになります。

2. 募集する学位プログラム・募集人員等

学位プログラム	区分	募集人員	入学時期	備考
人文学	博士後期課程第1年次入学	若干名	令和2(2020)年10月1日	※1注意
国際日本研究	博士後期課程第1年次入学	若干名	令和2(2020)年10月1日	

※1. 人文学学位プログラムに出願できる者は、筑波大学大学院人文社会科学研究所と国際交流協定を締結している以下の大学の在籍者及び出身者となりますので、注意してください。

華東師範大学
吉林大学
湖南大学 外国語学院
香港科技大学
香港中文大学
上海外国語大学 日本文化経済学院
西安外国語大学 日本文化経済学院
西安交通大学
大連大学 日本語言文化学院、外国言語文学研究科、外国言語学と応用言語学研究科
大連民族大学
中央美術学院
中国科学技術大学
中国人民大学 外国語学院
東北師範大学
南開大学
復旦大学 外国言語文学学院、生命科学学院、情報科学・工学
福建師範大学 外国語学院
北京航空航天大学
北京師範大学
北京大学
厦門大学
浙江大学
澳門大学 芸術・人文学院

※2. 出願する学位プログラム決定にあつては、本募集要項で研究分野等を確認してください。また、以下に注意してください。

人文学学位プログラム志願者: 本学位プログラムの教育・研究に関する質問は、以下のメールアドレスに問い合わせること。

jinbungaku-dp@ml.cc.tsukuba.ac.jp

国際日本研究学位プログラム志願者: 出願にあつて、「入学願書」に希望する指導教員1名を明記する必要がありますので、出願前に、希望する指導教員と必ず連絡をとってください。

連絡方法: <http://japan.tsukuba.ac.jp> (国際日本研究学位プログラムウェブサイト)

info@japan.tsukuba.ac.jp (国際日本研究学位プログラムメールアドレス)

3. 出願書類等

下記摘要欄及び願書等記入例を参照し記入のうえ、提出してください。

	書類等	提出該当者	摘要
1	入学願書	全員	所要事項を記入し、提出してください。必ずメールアドレスを記入してください。
2	外国人出願者用履歴書	全員	所要事項を記入し、提出してください。
3	受験票・写真票 机上受験票	全員	所要事項を記入し、写真(出願前3か月以内に撮影した無帽上半身正面のもので、大きさは縦4cm×横3cm、同一の写真を使用)を貼って提出してください。
4	修了(見込)証明書	全員	本学大学院博士後期課程への出願資格を満たす大学等の修了(見込)証明書を提出してください(通常は修士の学位を取得した大学院(大学))。また、外国の大学院を修了した者は修士相当の学位を取得したことを証明する書類(学位取得証明書等)を併せて提出してください。
5	成績証明書	全員	本学大学院博士後期課程への出願資格を満たす大学等の成績証明書を提出してください。(通常は修士の学位を取得した大学院(大学)) なお、編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学等前の成績証明書も併せて提出してください。
6	研究計画書	全員	【人文学学位プログラム】(様式任意) 研究計画書(様式任意)に指定表紙を付して、記載されている志望学位プログラムの作成要領に基づき作成してください。 【国際日本研究学位プログラム】(様式任意) 研究計画書(様式任意)に指定表紙を付して、記載されている志望学位プログラムの作成要領に基づき作成してください。
7-1	論文等	全員	各自用意する封筒に「7-4 論文等用シート」を貼り付けて、この封筒に「7-2 論文等題目票」を添付し、次①～③のいずれか(論文等)を入れた後、出願書類提出用の封筒に他の出願書類と同封して提出してください。 ① 修士論文(写し可) 修士論文が出願時に提出不可能な場合は、それに準ずる論文(提出時までの研究成果に、結論に関する予測を加えた論文) ② 昨年度以前の修了者は、新しい論文(写し可)をもって①に代えることができます。 ③ 修士論文を課せられていない者は、それに準ずる論文
7-2	論文題目票	全員	所要事項を記入し、提出する論文等すべての表紙に添付してください。(複写可)
7-3	論文等要旨 (様式任意)	該当者	日本語又は英語以外の言語で書かれた論文を提出する場合は、日本語(4,000字程度)又は英語(1,500語程度)の要旨を、論文等を入れる封筒に同封し提出してください。
7-4	論文等用シート	全員	所要事項を記入し、論文等を入れる封筒に貼付してください。
8	中国政府「国家建設高レベル大学公派研究生」申請者証明書(所定様式)	全員	所属大学(出身大学)において、「国家建設高レベル大学公派研究生」(中国政府派遣の類型は、学位取得博士研究生)に申請する者であることの証明を受けて提出してください。
9	推薦書 (様式任意)	全員	所属大学(出身大学)の指導教員による推薦書(英文または和文)を提出してください。
10	国費留学生証明書 (様式任意)	外国人出願者の該当者	他大学に在籍している国費外国人留学生は、当該大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。
11	宛名シート①	全員	所要事項を記入し、提出してください。 合格者に合格通知書等を送付する際に使用します。

	書類等	提出該当者	摘要
12	宛名シート②	全員	所要事項を記入の上、出願書類を全て入れた封筒(各自用意)に貼って、郵送(書留速達)してください。

(注) 証明書が英語以外の外国語文である場合には、当該大学で日本語または英語記載の証明書を発行してもらうこと。

大学から発行されない場合には、公の機関が証明した翻訳文を併せて提出してください。

婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本(写し可)または、該当の戸籍個人事項証明書を添付してください。

※出願書類により取得した個人情報及び試験成績の個人情報については、入学者選抜に関する業務に利用するほか、入学者選抜方法・大学教育改善のための調査研究において、個人が特定できないよう処理した上で利用することがあります。

4. 出願方法

(1) 入学志願者は、出願書類を取りそろえ、以下の出願先に、出願期限までに送付してください。
あわせて、Eメールでも出願書類を送信してください。その際、ファイル名は「高水準(志望学位プログラム名)(出願者氏名)」としてください。

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学 人文社会エリア支援室 大学院教務
E-mail: hass_admission@un.tsukuba.ac.jp

(2) 出願期限: 令和元(2019)年 12 月 20 日(金)まで必着とします。

(3) 出願書類を受理したときは、Eメールで試験場等の詳細を通知します。

5. 選抜方法

出願書類及び学力検査の結果を総合的に判定し、入学候補者を決定します。

6. 学力検査日程・試験科目等

次のとおり実施します。試験科目は、[出願時選択]に注意してください。

(1) 人文学学位プログラム(博士後期課程)

月日		2020年1月30日(木)	2020年1月31日(金)
科目		専門科目(150点)	口述試験(150点)
学位プログラム	時間	10:00~12:00	10:00~15:00
人文学		外国語(1カ国語)で書かれた専門文献による出題を含む、専門分野に関する問題	志望する専門分野に関して試問する。試験は個別面接形式で実施する。
選択方式		【出願時選択】	

(注)

外国語は、以下の各サブプログラムの指定する言語の中から選択してください。辞書の持ち込みは不可。

- 哲学・思想サブプログラム: 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、漢文、日本語。ただし、日本語を母語(第1言語)としない者は、日本語。
- 歴史・人類学サブプログラム: 英語、ドイツ語、フランス語、中国語。ただし、日本語を母語(第1言語)としない者は日本語もしくは上記の言語のうち、母語以外の言語。
- 文学サブプログラム: 英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、イタリア語、中国語、古典語(古典語は、ギリシア語、ラテン語、中国古典語のうちから選択)。ただし、日本語を母語(第1言語)としない者は、日本語。
- 言語学サブプログラム: 英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語。ただし、日本語を母語(第1言語)としない者は、日本語。
- 現代文化学サブプログラム: 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語。ただし、日本語を母語(第1言語)としない者は、日本語。
- 英語教育学サブプログラム: 英語。ただし、日本語を母語(第1言語)としない者は、日本語。

なお、第1言語とは、その者にとって、読む・書く・聞く・話すの4つの技能について総合的に最も熟達し、最もうまく使いこなせる言語。あるいはその者が受けた学校教育の中で使われた教授言語であり、自分の意見や思想・感情などを表現するのに最も表現しやすい言語のことである。

○ 学力検査等の試験場

筑波大学(茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1)
詳細については、出願書類等を受理後、Eメールで通知します。

(2) 国際日本研究学位プログラム(博士後期課程)

学位 プログラム	月日	2020年1月30日(木)
	科目	口述試験(200点)
	時間	13:00~18:00
国際日本研究	研究内容及び研究計画に関して個別に面接を実施する。	

○ 学力検査等の試験場

筑波大学(茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1)
詳細については、出願書類等を受理後、Eメールで通知します。

7. 合格者の発表

令和2(2020)年2月17日(月)。合格者には、合格通知書(授業料等免除の取扱いを含む)を送付します。

8. 入学手続

合格者は、「国家建設高水平大学公派研究生」に採用が決定した場合、中国国家留学基金管理委員会で発行する証書(原本)を10. 募集要項に関する問い合わせ先に送付してください。

あわせて、Eメールでも送信してください。その際、ファイル名は「高水平(志望学位プログラム名)(出願者氏名)」としてください。

後日、入学手続案内(入学に際して必要な提出書類)を発送します。中国国家留学基金管理委員会で発行する証書(原本)は、確認後合格者に返却いたします。

入学手続時までに「出入国管理及び難民認定法」(昭和26年政令第319号)に基づき、大学院入学に支障のない在留資格を得てください。なお、本学に外国人留学生として入学を希望する者は必ず「留学」の在留資格を得てください。

9. 受験についての注意事項等

- 1) 提出書類の不足、記載事項に不備がある場合には、出願書類を受理しないことがありますので、提出前によく確認してください
- 2) 出願後の志望研究群又は学位プログラムの変更は認めません。
- 3) 出願書類は、返却しません。

10. 募集要項に関する問い合わせ先

学生募集に関し、不明な点等がある場合には、下記に照会してください。

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学 人文社会エリア支援室 大学院教務
E-mail: hass_admission@un.tsukuba.ac.jp
取扱日及び時間: 月~金曜日の9時~17時
〔ただし、休日(国民の祝日、振替休日)を除く。〕

11. 安全保障輸出管理について

筑波大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人筑波大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。規則事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

人文社会科学研究群の概要

1. 人文社会科学研究群

「人文社会科学研究群」は、人や社会の営み、人と社会の関係の考察・分析に係わる人文社会科学の基礎研究において優れた能力を有し、学問の進展や社会的要請の変化に応じて人類の知の継承に貢献し得る人材、またグローバル化の進展に伴う地球規模の課題や社会的課題に果敢に挑戦し、人間の存在や人と社会との関係の望ましいあり方を構想しうる独創性と柔軟性をあわせもつ研究者・教育者、および高い専門性と実務能力を有する職業人を養成することを目的としています。本研究群には、次の3つの学位プログラムがあります。

(1) 人文学学位プログラム(区分制博士課程)

「人文学学位プログラム」は、人文学を取り巻く環境の変化やグローバル化に伴う社会の変化に対応するため、哲学、倫理学、宗教学、歴史学、人類学、文学、言語学、文化学、英語教育学などの人文学諸分野における優れた専門的知識を身につけるとともに、地球規模の新たな問題の発見と解決をめざし、専門の異なる人々と共同して問題解決に貢献できる人材を育成することを目的としています。

人文学学位プログラムは、従来の一貫制博士課程の哲学・思想専攻、歴史・人類学専攻、文芸・言語専攻、および区分制博士課程の現代語・現代文化専攻を統合し、哲学・思想、歴史・人類学、文学、言語学、現代文化学、英語教育学の6つのサブプログラムが存在していますが、それらを横断的・融合的に人文学として構築しようとするものです。

授与される学位は、修士(文学)・博士(文学)です。

(2) 国際公共政策学位プログラム(区分制博士課程)

「国際公共政策学位プログラム」は、国際関係論や地域研究、社会学、政治学、経済学、人類学、公共政策学など国際公共政策に関わる各分野の高度の専門性と、それらを横断する学際性とを備えた教育と研究指導を通じて、専門知識を基盤とし、グローバル化、複雑化する現代の国際問題や個別地域の諸問題、また社会・文化問題へと柔軟に適用できる研究能力と、それらを公共政策へと導く実践的問題解決能力を身につけた人材を育成することを目的としています。

国際公共政策学位プログラムは、従来区分制博士課程の国際公共政策専攻、および修士課程の国際地域研究専攻を統合し、各研究分野の専門性を結集し、学際的融合に基づく公共政策志向の教育を行おうとするものです。

授与される学位は、修士(国際公共政策)・博士(国際公共政策)です。

(3) 国際日本研究学位プログラム(区分制博士課程)

「国際日本研究学位プログラム」は、人文科学、社会科学、日本語教育学の専門的かつ国際的な学識を身につけ、グローバル化する現代社会の中で国際的・学際的・比較的な視野のもとで日本の文化・社会について研究し、海外にも発信していける人材を育成することを目的としています。

国際日本研究学位プログラムは、人文科学と社会科学の分野融合型・領域横断型の体系的な日本研究を行う区分制博士課程の国際日本研究専攻を母体としています。

授与される学位は、修士(国際日本研究)・博士(国際日本研究)です。

2. 人文社会科学研究群の教育課程

本研究群は、「研究群共通科目」を置くとともに、各学位プログラムの博士前期課程において、授業科目を、基礎科目、専門基礎科目、専門科目に区分し、基礎的なものから専門的なものへと系統的に配置して、学生の履修に資するように編成しています。

基礎科目は、学問領域を超えて幅広い分野に共通する基礎的な知識・能力、人間性を涵養する科目であり、大学院共通科目、学術院専門基盤科目、研究群共通科目などから構成されています。専門基礎科目は、学位プログラムで対象とする専門分野および関連分野の基礎的な知識・能力を涵養する科目です。専門科目は、学位プログラムで養成する人材が持つべき能力を涵養する科目です。

「研究群共通科目」は、幅広い知識・教養・行動力を身につけさせるため、博士前期課程の学生を対象に開設しています。「修士論文合同演習」(1単位)は、学生が自らの研究を人文社会科学分野の中で位置づけるとともに学際的な研究を促すための必修科目です。この科目では、本研究群の博士前期課程1年次生を対象に、各学位プログラムから推薦された、優れた修士論文を提出した2年次生が研究発表を行い、質疑、意見交換を行い、実施後、課題を提出させます。同じ分野のみならず、他分野の研究発表を聞き、議論を行うことによって、専門知識を深めるとともに、他分野における研究課題設定、解決方法を学ぶことによって、修士論文執筆に向けて研究力を高めるのみならず、自らの研究を人文社会科学分野において位置づけ、さらには学際的な研究への発展を企図しています。「研究法入門」(1単位)は、人文社会科学に共通する研究倫理や情報倫理について修得するとともに、研究者に求められる基本的態度や情報リテラシー、論文作成法、研究者・高度専門職業人としてのキャリアについて考えるための科目です。日本語を理解しない留学生に対しては、英語で Academic Writing and Research Ethics(1単位)を開講します。本研究群の博士前期課程の学生は、いずれかの科目を選択して必ず履修しなければなりません。このほかに研究群共通科目として、「人文社会科学のためのグラントライティング入門」「人文社会科学のためのインターンシップ(1)、(2)」を選択科目として開講します。

博士後期課程は、博士論文完成のための研究指導を行います。最先端の知識と思考力を修得させるために必要な専門科目を配置しています。また大学院共通科目なども履修できるようにしています。

3. 海外との交流・留学生の受け入れ

筑波研究学園都市には、海外からの多くの研究者が滞在し、活発な交流を行いながら研究活動を進めています。また国際会議の開催も多く、最先端の研究動向を把握するための環境が大変よく整っています。

本学では、多くの国から留学生(国費、私費)を広く受け入れ、学群生(学士課程)を含めて約 2,300 名(全学生に占める留学生比率は約 14%)が学んでいます。学位を取得する留学生の数も増加してきています。なお、留学生のための語学研修や、個人チューターの制度も充実しています。

4. 日本語教師養成プログラム

国内外において日本語を必要とする人が増えています。本プログラムでは日本語の教育方法のみならず、教材開発、評価などの実践的知識を提供し、コース運営能力の育成、教育能力を養成するものです。人文社会科学研究群の所属の学位プログラムの修了要件を満たし、かつ所属の学位プログラムおよび指導教員の承諾を得たうえで、当プログラムの要件を満たした場合、人文社会科学研究群において「日本語教師養成プログラム修了証明書」が交付されます。国際日本研究学位プログラム(博士前期課程)が運用しています。

人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群
Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences
Degree Programs in Humanities and Social Sciences

教員研究分野一覧(博士後期課程)
List of Faculty Research Field (Doctoral Program)

人文学学位プログラム
Doctoral Program in Humanities

サブプログラム Sub-Program	研究領域 Research Area	教員名 Faculty	研究内容 Detailed Description of Research Field	
哲学・思想サブプログラム Sub-Program in Philosophy	哲学 Philosophy	井川 義次 IGAWA Yoshitsugu	中国哲学 Chinese Philosophy	
		津崎 良典 TSUZAKI Yoshinori	西洋近世哲学(フランス哲学) French Philosophy	
		橋本 康二 HASHIMOTO Kouji	分析哲学 Analytic Philosophy	
		檜垣 良成 HIGAKI Yoshishige	西洋近世哲学(ドイツ哲学) German Philosophy	
	倫理学 Ethics	五十嵐 沙千子 IGARASHI Sachiko	現代倫理学 Political Thought and Communication Theory in Postmodern Thinking	
		千葉 建 CHIBA Ken	西洋近代倫理思想 Ethics, History of Modern Western Ethical Thought	
	宗教学 Study of Religions	小野 基 ONO Motoi	インド・チベット仏教思想史 Indian and Tibetan Buddhist History of Thought	
		木村 武史 KIMURA Takeshi	宗教学、アメリカ宗教研究 History, Phenomenology and Sociology of Religions, American Religions	
		志田 泰盛 SHIDA Taisei	インド古典学 Indian Classical Studies	
		土井 裕人※ DOI Hiroto※	宗教学、人文情報学 Study of Religions, Digital Humanities	
		保呂 篤彦 HORO Atsuhiko	宗教哲学 Philosophy of Religion	
		吉水 千鶴子 YOSHIMIZU Chizuko	インド・チベット仏教思想史 Indian and Tibetan Buddhist History of Thought	
	歴史・人類学サブプログラム Sub-Program in History and Anthropology	日本史学 Japanese History	伊藤 純郎 ITO Junro	地域社会史(近代・現代史) Local and Social History of Modern Japan
			中野目 徹 NAKANOME Toru	思想史・史料学(近代史) Intellectual History of Modern Japan
			朴 宣美 Park Sunmi	文化交流史(近代・現代史) History of Cultural Exchange(modern era)
			三谷 芳幸 MITANI Yoshiyuki	法制史・経済史(古代史) Legal·Economic History of Ancient Japan
山澤 学 YAMASAWA Manabu			宗教社会史(近世史) Socio-Religious History of Early Modern Japan	
東洋史学 Oriental History		丸山 宏 MARUYAMA Hiroshi	中国宗教社会史 Socio-Religious History of China	
		山本 真 YAMAMOTO Shin	中国・台湾近現代史 Modern History of China·Taiwan	
		上田 裕之※ UEDA Hiroyuki※	中国経済・財政史 Economic and Financial History of China	

(注)※印の教員は、授業担当教員です。志望指導教員として選択することはできません。
*The faculty members with “※” refer professors offering classes only.
They cannot be selected as prospective supervisor.

人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群
Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences
Degree Programs in Humanities and Social Sciences

教員研究分野一覧(博士後期課程)
List of Faculty Research Field (Doctoral Program)

人文学学位プログラム
Doctoral Program in Humanities

サブプログラム Sub-Program	研究領域 Research Area	教員名 Faculty	研究内容 Detailed Description of Research Field	
歴史・人類学サブプログラム Sub-Program in History and Anthropology	西洋史学 Western History	佐藤 千登勢 SATO Chitose	アメリカ史(合衆国史) Modern American History	
		山田 重郎 YAMADA Shigeo	オリエント史(アッシリア学) History of the Ancient Near East (Assyriology)	
		柴田 大輔 SHIBATA Daisuke	楔型文字学、古代西アジア史 Cuneiform Studies, Ancient History of West Asia	
		津田 博司※ TSUDA Hiroshi※	イギリス帝国史(カナダ・オーストラリア史) History of the British Empire, Australian and Canadian studies	
		村上 宏昭※ MURAKAMI Hiroaki※	ヨーロッパ史(ドイツ近現代史) European History (History of Modern Germany)	
	歴史地理学 Historical Geography	中西 僚太郎 NAKANISHI Ryotaro	歴史地理学(日本・アジア) Historical Geography (Japan and Asia)	
	先史学・考古学 Prehistory/ Archaeology	三宅 裕 MIYAKE Yutaka	先史学(生業・技術) Prehistory(subsistence, technology)	
		滝沢 誠 TAKIZAWA Makoto	考古学(国家形成・古墳) Archaeology(Early state, Kofun period)	
		谷口 陽子 TANIGUCHI Yoko	考古科学、保存科学 Archaeological science, Conservation science	
	民俗学 Folklore	徳丸 亜木 TOKUMARU Aki	日本民俗学(信仰伝承論・歴史伝承論) Folklore and Folk Religion(Japan)	
		武井 基晃 TAKEI Motoaki	日本民俗学(社会伝承論) Japanese Folkloristics ; study of social folklore	
		中野 泰 NAKANO Yasushi	民俗学(社会構成論) Folklore (Japan and East Asia / Community, Subsistence)	
	文化人類学 Cultural Anthropology	木村 周平 KIMURA Shuhei	文化人類学(日本、トルコ) Cultural Anthropology (Anthropology of Disaster, anthropology of Japan)	
	文学サブプログラム Sub-Program in Literature	文学 Literature	青柳 悦子 AOYAGI Etsuko	文学理論(とくにフランス系)、北アフリカ文学 Literary Theory and North African Literature
			秋山 学 AKIYAMA Manabu	古典古代学、地中海学 Classical Studies and Mediterranean Studies
			小川 美登里 OGAWA Midori	フランス現代文学 Modern French Literature
加藤 百合 KATO Yuri			比較文学、スラヴ文学 Comparative Literature and Slavic Literature	
稀代 麻也子 KISHIRO Mayako			中国六朝文学 Chinese Literature, Literature of Six Dynasties	
齋藤 一 SAITO Hajime			文学理論、イギリス文学 Literary Theory, English Literature	

(注)※印の教員は、授業担当教員です。志望指導教員として選択することはできません。
*The faculty members with “※” refer professors offering classes only.
They cannot be selected as prospective supervisor.

人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群
Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences
Degree Programs in Humanities and Social Sciences

教員研究分野一覧(博士後期課程)
List of Faculty Research Field (Doctoral Program)

人文学学位プログラム
Doctoral Program in Humanities

サブプログラム Sub-Program	研究領域 Research Area	教員名 Faculty	研究内容 Detailed Description of Research Field
文学サブプログラム Sub-Program in Literature	文学 Literature	佐野 隆 弥 SANO Takaya	イギリス・初期近代文学 Early Modern English Literature
		谷口 孝 介 TANIGUCHI Kosuke	日本古代文学、和漢比較文学 Ancient Japanese Literature, Wakan Comparative Literature
		馬場 美 佳 BABA Mika	日本近現代文学 Modern Japanese Literature
		ヘーゼルハウス ヘラト Heselhaus Herrad	文学・文化関係学、越境文学、文学理論 Relational Studies in Literature and Culture, Transnational Literature, Literary Theory
		増尾 弘 美 MASUO Hiromi	フランス現代文学 Modern French Literature
		吉原 ゆかり YOSHIHARA Yukari	文化研究、イギリス文学 Cultural Studies and English Literature
		吉森 佳奈子 YOSHIMORI Kanako	日本中古文文学 Ancient Japanese Literature
言語学サブプログラム Sub-Program in Linguistics	言語学 Linguistics	池田 潤 IKEDA Jun	セム語学、歴史言語学 Semitic Linguistics, Historical Linguistics
		池田 晋※ IKEDA Susumu ※	中国語学、対照言語学 Chinese Linguistics, Contrastive Linguistics
		石田 尊 ISHIDA Takeru	日本語学(文法論) Japanese Linguistics
		臼山 利信 USUYAMA Toshinobu	スラヴ語学、言語政策論 Slavic Linguistics, Language Policy
		大倉 浩 OKURA Hiroshi	日本語学(日本語史) Japanese Linguistics (History of Japanese)
		大矢 俊明 OYA Toshiaki	ドイツ語文法論 Grammatical Studies of German
		小野 雄一※ ONO Yuichi ※	教育工学、CALL、言語処理 Educational Technology, Computer-Assisted Language Learning
		加賀 信広 KAGA Nobuhiro	生成統語論、英語文法論 Generative Syntax, English Grammar
		金谷 優※ KANETANI Masaru ※	構文文法、語用論 Construction Grammar, Pragmatics
		金 仁 和 Kim In-hwa	韓国語学、対照言語学 Korean Linguistics, Contrastive Linguistics
		佐々木 勲人 SASAKI Yoshihito	中国語学、対照言語学 Chinese Linguistics, Contrastive Linguistics
		澤田 浩子 SAWADA Hiroko	日本語学、日中対照言語学 Japanese Linguistics, Comparative Studies of Chinese and Japanese

(注)※印の教員は、授業担当教員です。志望指導教員として選択することはできません。
*The faculty members with “※” refer professors offering classes only.
They cannot be selected as prospective supervisor.

人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群
Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences
Degree Programs in Humanities and Social Sciences

教員研究分野一覧(博士後期課程)
List of Faculty Research Field (Doctoral Program)

人文学学位プログラム
Doctoral Program in Humanities

サブプログラム Sub-Program	研究領域 Research Area	教員名 Faculty	研究内容 Detailed Description of Research Field
言語学サブプログラム Sub-Program in Linguistics	言語学 Linguistics	島田 雅 晴 SHIMADA Masaharu	生成統語論、理論言語学 Generative Syntax, Theoretical Linguistics
		杉本 武 SUGIMOTO Takeshi	日本語学(構文論、意味論)、コーパス言語学 Japanese Linguistics (Syntax, Semantics), Corpus Linguistics
		住大 恭 康※ SUMIDAI Yasunori ※	ドイツ語学(意味論・語用論) German Linguistics (Semantics/Pragmatics)
		田川 拓 海※ TAGAWA Takumi ※	日本語学、理論言語学(形態論、統語論) Japanese Linguistics, Theoretical Linguistics
		那須 昭 夫 NASU Akio	日本語音韻論、理論言語学 Japanese Phonology, Theoretical Linguistics
		沼田 善 子 NUMATA Yoshiko	日本語学(文法論、意味論) Japanese Linguistics
		橋本 修 HASHIMOTO Osamu	日本語文法論、意味論 Japanese Grammar, Semantics
		松崎 寛 MATSUZAKI Hiroshi	日本語教育学、音声学 Teaching Japanese as a Second Language, Phonetics
		宮腰 幸一※ MIYAKOSHI Koichi ※	理論言語学 Theoretical Linguistics
		矢澤 真 人 YAZAWA Makoto	日本語文法論 Japanese Grammar
		柳田 優 子 YANAGIDA Yuko	統語論、言語類型論、日本語学 Syntax, Language Typology, Japanese Linguistics
		山村 崇斗※ YAMAMURA Shuto ※	生成文法理論、統語論、ミニマリスト・プログラム Generative Grammar, Syntax, Minimalist Program
		和氣 愛 仁※ WAKI Toshihito ※	人文情報学、日本語文法論 Digital Humanities, Japanese Grammar
		和田 尚 明 WADA Naoaki	意味論、文法論 Semantics, English Grammar
現代文化学サブプログラム Sub-Program in Modern Culture Studies	文化学 Cultural Studies	江藤 光 紀 ETO Mitsunori	現代文化・芸術論(美術・音楽) Modern Culture and Art (Fine Arts and Music)
		佐藤 吉 幸 SATO Yoshiyuki	フランス現代思想、社会理論 French Contemporary Thought, Social Theory
		清水 知 子 SHIMIZU Tomoko	文化理論・メディア文化論 Media and Cultural Studies
		竹谷 悦 子 TAKETANI Etsuko	アメリカ文学・文化 American Literature and Culture
		対馬 美千子 TSUSHIMA Michiko	表象文化論、文学への思想的アプローチ Studies of Representation, Philosophical Approach to Literature

(注)※印の教員は、授業担当教員です。志望指導教員として選択することはできません。
*The faculty members with “※” refer professors offering classes only.
They cannot be selected as prospective supervisor.

人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群
 Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences
 Degree Programs in Humanities and Social Sciences

教員研究分野一覧(博士後期課程)
 List of Faculty Research Field (Doctoral Program)

人文学学位プログラム
 Doctoral Program in Humanities

サブプログラム Sub-Program	研究領域 Research Area	教員名 Faculty	研究内容 Detailed Description of Research Field
現代文化学サブプログラム Sub-Program in Modern Culture Studies	文化学 Cultural Studies	中田 元子 NAKADA Motoko	19世紀イギリス文学・文化 19th-Century English Literature and Culture
		濱田 真 HAMADA Makoto	近現代ドイツ文化論 Studies of Modern German Culture
		廣瀬 浩司 HIROSE Koji	フランス思想・現象学 French Philosophy and Phenomenology
		馬籠 清子 MAGOME Kiyoko	音楽・文学研究、アメリカ文学 Musico-Literary Studies, American Literature
		宮崎 和夫 MIYAZAKI Kazuo	スペイン史、スペイン文化研究 History of Spain, Spanish Cultural Studies
		山口 恵里子 YAMAGUCHI Eriko	イメージ人類学、イギリス美術 Anthropology of Art, British Art
英語教育学サブプログラム Sub-Program in English Language Education	英語教育学 English Language Education	磐崎 弘貞 IWASAKI Hirosada	英語語彙、辞書学、コーパス言語学 Vocabulary Research, Lexicography and Corpus Linguistics
		卯城 祐司 USHIRO Yuji	英文読解プロセス・教授法・言語習得 EFL Reading Comprehension & Teaching Methodology; SLA
		土方 裕子※ HIJIKATA Yuko ※	リーディング、ESP (特定目的のための英語) Reading, English for Specific Purposes
		平井 明代 HIRAI Akiyo	第二言語習得・評価論 Second Language Acquisition & Assessment

(注)※印の教員は、授業担当教員です。志望指導教員として選択することはできません。
 *The faculty members with “※” refer professors offering classes only.
 They cannot be selected as prospective supervisor.

人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群
Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences
Degree Programs in Humanities and Social Sciences

教員研究分野一覧(博士後期課程)
List of Faculty Research Field (Doctoral Program)

国際日本研究学位プログラム

Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies

研究領域 Research Area	教員名 Faculty	研究内容 Detailed Description of Research Field
社会科学 Social Sciences	明石 純一 AKASHI Junichi	移民・難民研究、国際人口移動論、グローバルガバナンス Japanese Immigration Policies, International Population Movements in Asia, Global Governance on Migration
	生藤 昌子 IKEFUJI Masako	グローバル環境と日本経済、マクロ経済学 Environmental Economics, Macroeconomics
	大友 貴史 OHTOMO Takafumi	国際政治理論、国際安全保障 International Relations, International Security
	ダダバエフ ティムール DADABAEV Timur	国際関係、中央アジアの国際政治、地域統合、地域機構、日本の中央アジア外交政策 International Relations, International Politics in Central Asia, Regional Integration, Regional Institutions, Japanese Foreign Policy toward the Central Asia
	崔 宰英 Choe Jae Young	計量社会科学、計量政治学(比較分析)、調査方法、数理解析、都市・交通計画/政策、交通需要分析 Quantitative Social Science, Quantitative Study of Comparative Politics, Public Policy (Urban/Transport Policy)
	塩谷 哲史※ SHIOYA Akifumi ※	中央アジア近現代史、ナショナリズム論、環境史 Modern History of Central Asia, Nationalism in Central Asia, History of Irrigation
	柴田 政子 SHIBATA Masako	比較教育、歴史教育、教育社会史 Comparative Education with Special Reference to State Formation, Elite Formation and Nationalism
	関 能徳※ SEKI Katsunori ※	比較政治学、計量政治学 Comparative Politics, Quantitative Political Science
	高橋 秀直※ TAKAHASHI Hidenao ※	金融論、金融史 Socio-Economic History, Monetary Economics
	タック川崎 レスリー Tkach Kawasaki Leslie	政治コミュニケーション、ニューメディアと政治、ホームページ内容分析 Political Communication, New Media and Politics, Website Analysis, E-science
	田中 洋子 TANAKA Yoko	世界経済史、比較歴史分析、比較労働・社会政策 Comparative Thought of History on East Asia
	根本 信義 NEMOTO Nobuyoshi	日本の裁判制度、民法の要件事実 Civil law, Criminal law, Fundamental Law
	潘 亮 PAN Liang	戦後日本外交、現代日本政治外交史、日本の国連政策、戦後日米関係史 Postwar Japanese Foreign Policy, Modern Japanese Diplomatic History Japanese Relations with the United Nations, History of Postwar Japan-US Relations
	平沢 照雄 HIRASAWA Teruo	現代日本経済史、地域経済・産業史、中小企業論 Japanese Economic History, Japanese Economy, Regional Economy, Small Business
	福住 多一 FUKUZUMI Masakazu	ゲーム理論、進化ゲーム理論、ミクロ経済学、日本的経済慣行のゲーム理論分析 Evolutionary Game Theory, Behavioral Game Theory, Law and Economics
宮坂 渉 MIYASAKA Wataru	古代ローマ法、民法、西洋法制史、法と国際社会 Fundamental law, Civil law	
山本 英弘 YAMAMOTO Hidehiro	社会学、政治社会学、市民社会、社会運動、利益団体、計量社会学、社会調査 Sociology, Political Sociology, Civil Society, Social movement, Interest Group, Sociometrics, Social survey	

(注) ※印の教員は、授業担当教員です

*The faculty members with “※” refer professors offering classes only.

人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群
Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences
Degree Programs in Humanities and Social Sciences

教員研究分野一覧(博士後期課程)
List of Faculty Research Field (Doctoral Program)

国際日本研究学位プログラム

Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies

研究領域 Research Area	教員名 Faculty	研究内容 Detailed Description of Research Field
人文科学 Humanities	石塚 修 ISHIZUKA Osamu	日本文学、日本文化、文化研究 Japanese Literature, Japanese Culture, Cultural Studies
	嚴 錫 仁 Eom Seogin	哲学・倫理学、韓国と日本を中心とした東アジアの思想・文化、漢字文化論、家庭教育論 East Asian Confucianism, Kanji Culture
	海 後 宗 男 KAIGO Muneo	ネットワーク社会論、情報メディア論、メディア・コミュニケーション論 Media Communication Research, Information and Network Society, Media Management
	後 藤 嘉 宏 ※ GOTO Yoshihiro ※	コミュニケーション思想史 Intellectual history of social communication
	平 山 朝 治 HIRAYAMA Asaji	日本文化と経済思想、「家」・アイドルの歴史比較制度分析 Economic Ideas, Theory of Economic System, Comparative Study of Thoughts and Ideas
	平 石 典 子 HIRAISHI Noriko	比較文学(ヨーロッパ世紀末文学、日本近・現代文学) Comparative Literature (European Fin-de-Siecle Literature, Modern Japanese Literature)
	白 戸 健 一 郎 ※ SHIRATO Kenichiro ※	メディア史、東アジアのメディア文化論、放送文化論 Cultural Policy, Media History
日本語教育学 Japanese Language and Japanese Language	井 出 里 咲 子 IDE Risako	言語人類学、ことばのエスノグラフィー、語用論 Linguistic Anthropology, Ethnography of Communication, Narrative Analysis
	小 野 正 樹 ONO Masaki	日本語を中心とした語用論研究、日本語教育学 Japanese Language Education, Japanese Functional Grammar
	木 戸 光 子 KIDO Mitsuko	日本語教育学、文章論、作文教育 Japanese Language Education, Study on Japanese Discourse
	関 崎 博 紀 SEKIZAKI Hironori	日本語教育学、会話の分析 Japanese Language Education, Conversation Analysis
	高 木 智 世 TAKAGI Tomoyo	会話分析、相互行為分析、相互行為言語学 Conversation Analysis, Ethnomethodology, Discourse, Sociolinguistics
	ルート ヴァンバーレン Ruth Vanbaelen	日本語を中心とした社会言語学 Sociolinguistics Studies with a Focus on Japanese Language
	一 二 三 朋 子 ※ HIFUMI Tomoko ※	日本語教育学 Teaching Japanese as a Second Language
	ブッシュネル ケード BUSHNELL CADE	エスノメソドロジーの会話分析、社会文化的学習論、日本語教育学 Ethnomethodological studies, Conversation analysis, Situated learning, Japanese language education
	文 昶 允 ※ Moon Changyun ※	音韻学、音声学 Phonology, Phonetics

(注) ※印の教員は、授業担当教員です

*The faculty members with “※” refer professors offering classes only.

入学願書等記入上の注意

1. 入学願書に記入した氏名、生年月日、性別は、基本データになりますので正確に記入してください。
2. 入学願書は、複数の学位プログラムで共通に使用できるように作成されています。
したがって、学位プログラムによっては該当しない受験科目欄が設けられている場合がありますので、各学位プログラムの指示に従い該当する欄のみ記入してください。
3. ※欄は記入しないでください。
4. 研究群・学位プログラムコードは、次の該当するコードを記入してください。

研究群名	コード	学位プログラム名	コード
人文社会科学	4ア	人文学	11
		国際日本研究	13

5. 改姓年月及び旧姓欄は、婚姻等により出願書類(成績証明書など)と氏名が異なる場合に記入してください。
6. 本人以外の連絡先欄は、本人と連絡のとれる者を記入してください。
7. 志望研究群・学位プログラム名は、募集要項(2頁)で明記している研究群・学位プログラム名を記入してください。
8. 人文学学位プログラム志願者は、「教員研究分野一覧」に記載されている志望指導教員が所属する「サブプログラム」名も明記してください。
9. 受験特別措置欄は、障害のある者で、受験の際に特別な配慮を許可された者は「要」に○を付してください。
それ以外の者は「不要」に○を付してください。
10. 出願資格審査欄は、募集要項に明記している出願資格認定審査に提出する者は「要」に○を付してください。
それ以外の者は「不要」に○を付してください。
11. 出願資格欄は、該当する出願資格に応じて修了した(修了見込みの)学校名等を記入してください。
12. 入学願書提出後、連絡先が変更になった場合には、直ちに申し出てください。

<各学位プログラム別記入例>

<人文学学位プログラム>

「志望サブプログラム／志望指導教員名」欄に志望サブプログラム名及び志望指導教員名を記入してください。

志望研究群名・研究群コード			志望学位プログラム名・学位プログラムコード		志望サブプログラム／志望指導教員名
人文社会科学研究群	4	ア	人文学学位プログラム	11	言語学サブプログラム／（志望指導教員名）
受験科目	外国語		専門科目		口述試験
			日本語		面接

(注)現代文化学サブプログラム、英語教育学サブプログラムを志望する者は、「指導教員名」の欄は記入不要です。

外国語は、以下の各サブプログラムの指定する言語の中から選択してください。辞書の持ち込みは不可。

- 哲学・思想サブプログラム：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、漢文、日本語。ただし、日本語を母語（第1言語）としない者は、日本語。
- 歴史・人類学サブプログラム：英語、ドイツ語、フランス語、中国語。ただし、日本語を母語（第1言語）としない者は日本語もしくは上記の言語のうち、母語以外の言語。
- 文学サブプログラム：英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、イタリア語、中国語、古典語（古典語は、ギリシア語、ラテン語、中国古典語のうちから選択）。ただし、日本語を母語（第1言語）としない者は、日本語。
- 言語学サブプログラム：英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語。ただし、日本語を母語（第1言語）としない者は、日本語。
- 現代文化学サブプログラム：英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語。ただし、日本語を母語（第1言語）としない者は、日本語。
- 英語教育学サブプログラム：英語。ただし、日本語を母語（第1言語）としない者は、日本語。

なお、第1言語とは、その者にとって、読む・書く・聞く・話すの4つの技能について総合的に最も熟達し、最もうまく使いこなせる言語。あるいはその者が受けた学校教育の中で使われた教授言語であり、自分の意見や思想・感情などを表現するのに最も表現しやすい言語のことである。

<国際日本研究学位プログラム>

「志望指導教員名」欄に志望指導教員名を記入してください。

志望研究群名・研究群コード			志望学位プログラム名・学位プログラムコード		志望指導教員名
人文社会科学研究群	4	ア	国際日本研究学位プログラム	13	（志望指導教員名）
受験科目	外国語		専門科目		口述試験
					面接